

思い込み(ほどほどに！)

de JA1RIZ

美川憲一の世界ではないが、『あんた思い込みが激しすぎるんじゃないか』とは自分自身がよく言われるところである。

時折「空中線」と書かなければいけない所を「空中『戦』」などとやって気がつかない時があるのもそのひとつか。Hihi

多かれ少なかれ人は誰でも、「思い込み」の性質を持っていると思う。

「ヒューマンエラー」＝「思い込み」とばかりは言えないが、交通事故、労働災害等の原因としての「ヒューマンエラー」は4割～9割を占める[注1]と言う報告があるくらいだ。事故の多くは「思い込み」によって起こっているのかもしれない。

しかし、人が何かの行動をして行く時、その原点には「思い込み」があるのではないだろうか。例えば、上級資格の資格取得にチャレンジする時、その資格を取りたい！という気持。そしてそれに向かって学習する時。

自分にも取れるんだ、という信念。それには強い「思い込み」がある様に思う。新しい世界に飛び込む時、今までと違ったことをする時等、「思い込み」無くしてはやって行けないであろう。又一方、「思い込み」が激しくなると、周りが見えなくなり、判断力が低下することが前述の事例からも明らかである。

それらを是正することができるのは、周りの人からの注意・助言を聞く耳を持つ事や自身の行動の点検(反省)する謙虚さがものをいうと思う。

ある人間工学者[注2]は、人間は誤りを犯す動物であるという視点から一般的な人間の特性として次のようなことをいっている

- (1) 人間は「うぬぼれ」屋である。－危険な自信過剰
 - (2) 人間は近道を通りたがる。－最小エネルギーで最大効果を得ると言う考えで短絡行動に走る
 - (3) 人間は先走りをする。－良く物事を確かめないうちに動作しがちである
- 先人の教えにあるように、『謙虚に』、『急がば回れ』、『石橋をたたいて渡る』等が大切なのであります。

なぜ今更こんなことを？と疑問の向きもあるかもしれませんが、かつて、本グループでもDXや技術が低いから自分がレベルアップしてやるのだ等と「思い込み」総スカンを食らった御仁がいたり、熱心さのあまりマイペースになり過ぎて自分の思うほど良く思われていない人がいたりするからである。

当局も『命、移動運用！』の『思い込み』が強いので反省しなければ…等々思うこの頃です。

[参考文献] [注1]大阪大学人間化学部助教授・臼井伸之介／ヒューマンファクタに関する調査

[注2]日本ヒューマンファクタ研究所所長・黒田勲／今、なぜヒューマンファクタが重要